

情報モラル教育全体計画

錦江町立大根占小学校

国・県・社会の要請
 児童の実態
 ・ 携帯電話の使用状況
 ・ インターネットの使用状況
 ・ SNSの使用状況等により、様々なトラブルが発生している。

学校教育目標
 「心豊かでたくましく
 学ぶ意欲にあふれる
 大根占の子」
 じょうぶで
 やさしく
 すすんで学び
 やりぬく大根占の子

保護者・教師の願い
 ・ 危険な情報で傷ついたり傷つけたりしない。
 ・ 情報を安全に賢く使うことができる。

情報モラル教育の目標
 ・ 情報社会において、主体的に判断し、正しく行動できる子どもの育成
 ・ 情報モラルに関する知識を身に付けた子どもの育成
 ・ 情報モラルを通して、自分や周りの人を大切にし、集団や社会に適切に関わっていきようとする子どもの育成

道徳教育の目標
 思いやりの心を持ち、お互いのよさを認めながら、自ら考え、よりよく生きようとする子どもを育てる。

情報教育の目標
 情報活用の実践力・情報科学的な理解態度の育成
 情報社会に参画し、児童の発達に貢献できるように働きかける。

情報モラル教育で目指す子ども像
 ・ 情報の大切さを知り、情報社会のルールやマナーを守ることができる子ども
 ・ 健康に気を付け、協力してネットワークを利用できる子ども
 ・ ネット上の適切、不適切な情報を見分ける方法を知り、危険を回避できる子ども

各学年の目標・めざす子ども像			
	低学年（1・2年）	中学年（3・4年）	高学年（5・6年）
目標	自分や他人の情報を大切にし、安全に行動できる子どもを育てる。	自分や他人の情報を大切にし、ルールやマナーを守り、安全に行動できる子どもを育てる。	発信する情報や情報社会での行動の責任をもち、ルールやマナーを守り、正しく行動できる子どもを育てる。
目指す子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 約束やきまりを守る子ども 相手に温かい心で接する子ども 自分の身や他人の作っただも大切にすることを理解する子ども 自分の言葉で正しく伝えることができる子ども 危険なことに近づかない、危険なことをしない子ども 	<ul style="list-style-type: none"> 相手への影響を考慮して行動する子ども 自分の情報を正しく発信する子ども 他人の情報の内容を正しく理解する子ども 情報やマナーを理解し、ルールやマナーを守る子ども 健康のために利用時間や約束を守る子ども 	<ul style="list-style-type: none"> 他人や社会への影響を考慮して行動する子ども 他の権利が尊重されることを知り、尊重する子ども ルールやマナーに反しない行動について知り、絶対に行わない子ども 不適切な情報を認識し、対応できる子ども 自他の健康安全を脅かす行為を行わない子ども

各教科・領域等における取組			
各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動
・ 情報モラルの指導を特別な教育と意識せず、全教育活動に係る日常の問題として取り組むようにする。 ・ 従来の授業の中に情報モラルの視点をもった学習活動を取り入れる。（「心を磨く領域」の指導） ・ ICTを活用した情報モラル教育（Webサイト上の諸トピックについて疑似体験したり、クイズ形式で様々な問題点について考えさせたりする）への取組で、「知恵を磨く領域」の指導を行う。 ・ 「心を磨く領域」と「知恵を磨く領域」を共に意識しながら、日常的かつ体系的に指導していく。			

家庭・地域・関係諸機関との連携による取組

- ・ P T A の重点事項に設定して、各家庭で取り組めるようにする。
- ・ 錦江警察署との連携
- ・ 町学校保健会との連携
- ・ 「錦江町の素直な子どもたちの健やかな成長を願って」を活用した取組